せいりょう

政治活動をしていると様々な地域行事に呼んでいただく。春は卒業式と入学式の季節だ。行事はそれぞれに重要だが、中でもこの二つが好きだ。時間があれば極力出席するようにしている▼政治的な意味を求めてではない。自分を振りかえり、元気づける何よりの機会だからだ。子供たちは期待に胸を膨らませ、初めての出会いや別れがある。親たちは、我が子の成長に目を細め元気であれと祈る。教師の皆さんの献身的な姿に感謝する▼「子供は未来からの預かりもの」。誰もが自分の子を想う気持ちで社会や次世代のことを考えることができればほとんどの政治課題は解決するだろう。政治は崇高な職業だと誇りを持っているが日々の活動の中、時には天を仰いでため息をつくことがある。そんな時、学校行事で子供たちに会うと「この子たちの未来のために自分が政治家として何をしなければならないか」と考える。よしガンバロウと思う。

衆議院議員　松野　博一

（党新聞局次長）